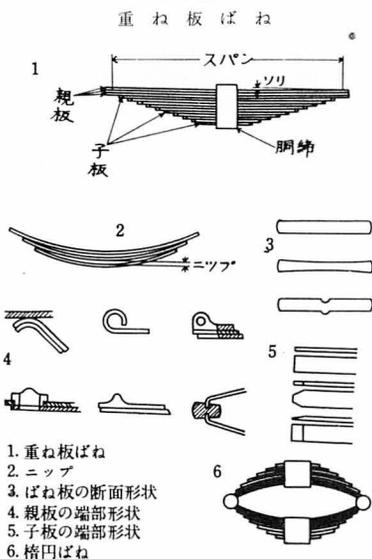


ring (独) Blattfeder 平鋼のばね板を幾枚か重ね合わせ、その中央部を胴締で固くしめつけたもので通常図-1のように「そり」をもった弓形をしている。



ばね板のうち直接荷重をうける端の数枚のものを親板、他のばね板を子板とよぶ。親板の荷重支持点間の距離をスパンという。

ばね板は普通図-2のようにニップとよぶそりの差を与えてお

いて胴締で締付ける。胴締はSS41材またはSS34材の打ち抜き鍛造をしたものを用いるのが普通である。

ばねに使用する平鋼には図-3に示すような種類がある。親板の両端は図-4、子板の両端は図-5のような形状の種類がある。

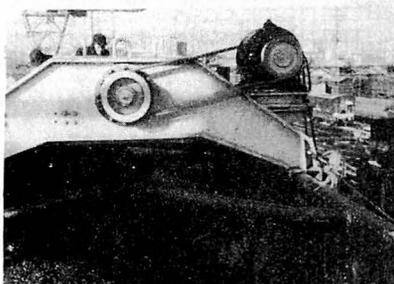
機関車・貨車では重ね板ばねを担ばねとして使用するものが多いが、客車・電車・気動車等のボギーでは、数連の重ね板ばねを図-6のように組んでまくらばねに使用するのが普通である。このような用い方をする場合側面から見ると楕円(だえん)形となるので楕円ばねと呼ぶことがある。(内村守男)

かさねいたばねグリース 重ね板ばねグリース カップグリースに黒鉛を加えて作られる。重ね板ばねのリーフの間に塗布され潤滑・さびどめの役をする。(河野通郎)

かしいせん 香椎線 福岡市北方の玄海灘に突出している岬の博多湾に面している西戸崎から出て、香椎駅において鹿児島本線に接続し、さらに東南方に進み宇美に至る25.4kmおよびその途中酒殿から分れ旅石に至る3.1km計28.5kmの線。鹿児島線に属し線路等級は丙線である。

明治37・1石炭輸送を主たる目的として西戸崎・宇美間博多湾鉄道株式会社によって開通したが、のち西日本鉄道株式会社に合併、さらに昭和19・5政府に買収され香椎線と呼ぶこととなった。また酒殿・旅石間は大同4・3開通された貨物支線である。(森 梯寿)

カーシェーカ (英) car shaker 底開き石炭車に積んだ石炭をじん速に放出するために、車体に強力な振動をあたえる機械。石炭車の上をまたいで両側板上に取付け、内蔵する偏心軸を電動機により回転し、本体に跳躍運動をおこさ



カーシェーカ

せ、側板をばねしたたくものである。

水分を多く含んだ粉炭などは一般におとしにくい、これを

かしきせん 加治木線 鹿児島県始良郡加治木町から同県薩摩郡入来町に至る国鉄自動車路線であって、この路線を所管する自動車営業所は鹿児島市柳町(鹿児島)、同支所は鹿児島県始良郡加治木町(加治木)にある。



1 区間・キロ程および沿革

加治木・牟多田	36km	昭10・2・21開業
向江町・嶽	10	昭29・10・15
高樋・船津校前・簡原	5	昭29・2・25
楠田・真黒口	7	昭27・2・25
關牟田口・洗出	3	昭25・11・1
關牟田池口・關牟田池	1	昭30・3・15

2 営業範囲 旅客・手小荷物および貨物の取扱をしている。

3 使命 宮之城線と日豊本線とを国鉄自動車線本薩本線を通じて宮之城駅と帖佐・加治木両駅とで連絡する鉄道の短絡路線である。

4 特長 この路線は始良郡・薩摩郡地帯の産業開発路線であって、この地方の交通文化に寄与するところきわめて大きい。沿線には關牟田温泉および天然記念物關牟田池の泥炭形成植物群落・蒲生の大樟などがある。(松沢信之)

かしきりりょのりゅうちりょう 貸切車の留置料 客車・荷物車等を貸切した場合、旅客の都合によって車両を同一駅に長時間滞留させておとときに旅客から収受する料金をいう。鉄道の車両は絶えず運転して旅客運送の用に供し、収入をはかるべきものであるから、これを旅客の都合によって同一駅に長時間留置することは、その車両の稼働(かどう)効率を低下させることになるので、その稼働率の低下を防止する意味の留置制限的性格をもつものである。

現行貸切車の留置料は貸切旅客の都合を考慮し、列車到着時刻から6時間以内は無料留置を認め、以後の留置時間については出発時刻までの間、1両2時間までごとにつぎのとおりとする。機関車1,530円。気動車・荷物車・電車・客車・食堂車510円。なお機関車については暖房料金を収受する時間については留置料を収受しない。(平林喜三造)

かしきりりょかく 貸切旅客 旅客が車両または車船室を専用したいとき、その使用希望の車両の車種・行程・乗車人員その他必要な事項を申し出た場合は、国鉄で輸送上支障のない場合にかぎり車両または車船室貸切扱の取扱をする。この場合における旅客を貸切旅客という。

貸切扱の取扱をする場合はつぎの貸切定員に相当する大人普通旅客運賃を収受する。したがって貸切車船室に乗車する人員数については、その定員をこえないかぎり人員の多寡を問わない。

- 1 1等客車 1等24人分。